

1998(平成10年)

第18号

12月1日発行

# 育連だより

編集・発行 川崎市青少年育成連盟

理事長 中島忠三

事務局

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5

エポックなかはら5階

電話 044-733-3951

印刷 西楼印刷株式会社

川崎市子ども会連盟 ポーイスカウト川崎地区協議会

川崎市青少年育成連盟

ガールスカウト川崎市連絡会 川崎海洋少年団

## 育成連盟主催事業の報告

### 姉妹都市リエカ市交流を終えて

リエカ市交流使節団 副団長 芦垣秀代

「育成連盟キヤンプ」子ども一七名、大人九名で編成されたリエカ市交流使節団。行政当局の深い協力とご支援を賜り、多くの成果をあげることができました。

日、これからの時代を担う子ども達にとって必要なことは、一人一人が国際感覚を身につけて成長することではないでしょうか。その意味からも、今後も海外研修が続けられればと願っております。

短い時間の間でしたがあなた方が感じたり、考えたことは今までとは違う見方や願いや考え方、そして何よりもあなた自身身にブラスになる出来事だったのではないかなと考えます。

日本のお友達もリエカの新しいお友達もこれから先、ずっと仲良くしてほしと願います。キヤンプは終了してしまいましたが、

活動も学校のクラブ活動の一貫で、学校の先生が指導者として行っている現状は、我が国と大きな違いとして感じられました。逆に、川崎の青少年団体の指導者が、公務としてではなくボランティアとして団体育成活動にたずさわっている事に、大きな驚きを与えたようでした。

### 富川市交流使節団派遣される

川崎市子ども会連盟の中島忠三連盟長を団長とした、育成連盟に所属する四団体の指導者と教育関係者より構成された、総勢十七名の使節団が、九月二十四日から二十七日の三泊四日で、韓国を訪問しました。

川崎市と富川市とは、一昨年度友好都市の提携を行い、今年で二年目となります。昨年は、市内中学生の青少年使節団が訪問し、今年も育成連盟による成人指導者の訪問となりました。

まず一行は、富川市庁の表敬訪問を行い、元市長さん(ウォン・ヘヨン)と市長さん(チェ・シユンシク)の副市長さんとお互いの市内情勢などの有意義な意見交換を行いました。富川市は韓国最大のソウル市に隣接しており、ソウル市のベットタウンとして、現在多くの高層住宅建設計画が実施されており、活気あふれる市政が実施されている

富川市は、韓国で初めて恐竜の足跡が発見された場所として全国的に有名で、当市の市民祭の際には、二〇年近く出店されておりまして、今回の研修会は、育成連盟五〇周年を終えて次代を担う指導者を育てようという目的で各団体より中高生を対象に二二名の研修会を実施しました。子供達は、研修会に対して素直に取組みこの研修会で得た体験や友情そして自信を基に所属団体に帰ってから実践することと思っております。近い将来、若手の中心メンバーとなり



始めて訪れた私たちの姉妹都市リエカ市にどんな印象を持ったのでしょうか。毎日とても暑い日々でしたがリエカ市市長さんへの表敬訪問、そして国立公園などへ出かけた後、UMAGでのキャンパになりました。たくさんのお土産をいただきましたが、私達の住んでいる日本とはずいぶん異なる事がたくさんあり戸惑ったことでも。言葉もあまり話さなかつたので、自分に自分が情けなかつたりした事もあったことと思っております。彼らが一生涯命を懸けてくれたり、どうしたら喜んでもらえるのか考えて下さったり、たくさん温かい心を感じたと思っております。リエカ市でもUMAGのキャンパでも言葉は通じなくても、心

国にも色々な人間があり、様々な暮らしがあること、そして、それぞれの国の人々が自らのアイデンティティを大切に育て、独自の生き方を求めながら、他の国々の人々との友好・交流を望んでいることなど、国際感覚を肌で感じ、学ぶことができたようです。

国際化時代といわれ、私たちの生活と深く係わる多くの分野で国際的な取り組みが進みつつある今

富川市は韓国最大のソウル市に隣接しており、ソウル市のベットタウンとして、現在多くの高層住宅建設計画が実施されており、活気あふれる市政が実施されている



富川市は韓国最大のソウル市に隣接しており、ソウル市のベットタウンとして、現在多くの高層住宅建設計画が実施されており、活気あふれる市政が実施されている



### 申高校生リーダー研修会

平成十年度  
十一月二十四日(土)二十五日(日)において群馬県中里村で実施致しました。中里村は、日本で初めて恐竜の足跡が発見された場所として全国的に有名で、当市の市民祭の際には、二〇年近く出店されておりまして、今回の研修会は、育成連盟五〇周年を終えて次代を担う指導者を育てようという目的で各団体より中高生を対象に二二名の研修会を実施しました。子供達は、研修会に対して素直に取組みこの研修会で得た体験や友情そして自信を基に所属団体に帰ってから実践することと思っております。近い将来、若手の中心メンバーとなり

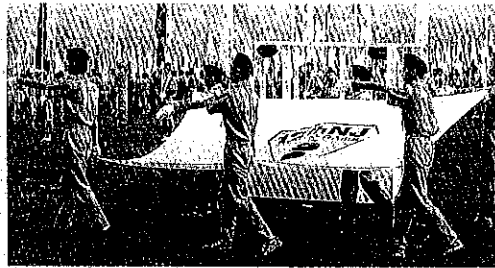
益々活躍されることを大いに期待をしております。

最後に、各団体を代表し御奉仕頂いたスタッフの皆様、大変お疲れ様でした。心より感謝申し上げますと共に私達も改めて勉強する機会となりました。

### 第十二回日本ジャンボリー開催

ポロイスカウト

平成十年八月三日、前日までの悪候もようやく上った秋田県北秋田郡森吉山麓高原の広大なアリーナで、全国各地から派遣された二万五千名のポロイスカウトが、「夢と感動」を胸にひめ、憧れのまなこで見守る中で、第十二回日本ジャンボリーの開会式が盛大に挙行された。



第十二回日本ジャンボリー開会式の様子

参加資格は、今回から小学六年生でも二級スカウトで、野営生活に必要な技能と耐えられる体力を持つている者となっています。翌日には、パイオニア章の取得を大きな目標に、会場内外に準備された各様のプログラムにスカウト達は挑戦しました。今迄の大会は、必ずと言って良いほど雨に遇うのですが、今回は雨が降らない日がないくらいに雨にたたられた大会でした。その為に長靴が必需品であり、期間中履かない日は無かった。そうした中で野営生活でしたので、リーダーの方々は、スカウト達の健康管理に大変苦労されたようでしたが、川崎地区のスカウトには重症者が出なかったことは幸いです。

今回の開会式は、広げて移動にはシャトルバスが運行されたので、場所によっては利用価値があります。また、ほとんどの傾斜地のためテントを張る場所に苦労したようです。

八月五日のジャンボリー大集会には皇太子殿下がご臨席になられて、親しくスカウト達にお言葉を述べられ、スカウト達も大変感動したようでした。この日は天候が良く、暑く夏らしい日でした。十三の野営区が知恵をこらして企画して、準備した「日本の祭り」がアリーナで、次々と繰り広げられて、しばし時間の経つのも忘れるほどでした。

八月七日、夕陽迫る中の閉会式、スカウトにとってテーマの「夢と感動」がどのように心に刻

まれたか分かりませんが、大きな何かを得たものと思います。これからの現役での活動に生かして、他のスカウトにも波及して欲しいと思います。大会が無事に終わったのは関係者の皆様のご尽力の賜と幸いです。

### 秋季キャンプ

海洋少年団

毎年天気に恵まれている「休育の日」の十月十日からの連休を使用した一日で奥多摩の「氷川キャンプ場」において秋季キャンプを行いました。

今回のキャンプの目的は、「自主的に行動をすること」と新を使った自炊です。メニューから自分たちで決めました。

夕食はハンバーグ、トン汁、ご飯。食事内容を決めておいたので、さっそく材料の買い出しでハンバーグを作るためには、何を買い揃えたら良いかを考え、スーパーマーケットを右往左往しながら買い物を済ませました。

料理開始！材料を細かく切る係り、かまどに火をおこす係りと担当にわかれて夕食の準備を進めました。

各人ハンバーグの具をビニール袋に小分けにし、混ぜること数分、それぞれ思いのままに個性的な形のハンバーグのできあがり。鉄板であとは焼くだけ。焼き上がったときには、日はどっぷりと暮れて、かまどを囲んでの夕食になりました。

### ピースバックパックへの思い

ガールスカウト

私達は、平和キャンペーンを行なっています。十一月一日〜三日まで市民会館をお借りして、ピースバックパックを地区行事として行ないます。初日は、リーダーの指示のもとスカウト達の会場作りから始まり、各自持ち参した品物を出し合い、他団のスカウトと交流をもちながら語り合う姿を見ることが出来ました。

一つ一つ袋に詰める時「集まった物を何でもいいから入れるのではなく、もう立場になって入れていこうね。」とリーダーから一言。その言葉を忠実に守って入れている。ここでも「入への思いやり」を忘れてはいません。ただ汚れたタオル等も隠されている事に驚き、私達の一般の方々への呼びかけの不足を感じました。

手際が反省し、これからの活動に生かしていかなければと思いましたが、多くの方々に協力いただき無事に三日間終了いたしました。

川崎市連絡会 小林 洋美

### 交流綱引き大会

連帯と相互理解の友好を深める

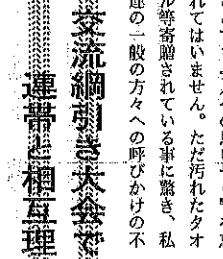
川崎区子連

八月八日、静岡県川根町の「川根町子ども会綱引き大会」に招待され参加した。

川根町は南アルプスの麓にあり人口七、〇〇〇人、水と緑豊かな素朴な山里で町を挙げて綱引き競争が盛んな土地、昨年「パワフルかわさき区民綱引き大会」に、川根町民代表の男・女チームがゲスト参加、消防署と区役所チームでも会レベルのスポーツ交流で、都会と大自然地域の子とも同士の親睦を目的に、子ども二十四名(三チーム)と、役員・育成者十三名が観光バスで、途中若干の渋滞で十三時四十分川根町に到着、屋敷後早速大井川河川敷に、テントを張り野営の準備、川根町代表十七名と対面式後、合同レクリエーション、パーベキュー、キャンプファイヤーで交流、夜店を見

た。手際が反省し、これからの活動に生かしていかなければと思いましたが、多くの方々に協力いただき無事に三日間終了いたしました。

川崎市連絡会 小林 洋美



子供達は今日指導していただく先生の後について進み芝生の広場に出た。子供一三〇名指導していただく先生と大人九名指導者十二名それぞれが中央の大きな木を囲む様にしてゲームが始まる。終わった時各十二名くらいのグループが出来ていた。最初に取り組んだのが自然の中で動物の声を聞き、管を聞くこと。みんな目を閉じ静かに座り耳をすまます。聞こえる、カラスの鳴く声、スズメ、ニワトリ、虫の声、池になにか飛び込んだ音まで聞こえた。今度は目を閉じたまま風の吹いてくる方向に顔と体を向ける実験、ヤメの台図で皆一斉に目を開けるほとんどの人が同じ方向を向いていた。各グループが森林の細い道を進む。クモがいた、蟻がいる、トンボ池の中石の上に亀、周りに小さな魚、指導員の人が倒れた丸太を動か

差で残念ながら予選失格となった。閉会式は選手、育成者、応援の父母全員参加の中心入賞者の表彰、中島連盟長の御礼の言葉と共に、秋の「パワフルかわさき区民綱引き大会」に参加の誘いを、秋の再開を約し大きな拍手に見送られ帰路についた。金沢 好美

宮前区子連 谷島 義雄

育連事務局からお知らせ

すでに各団体にお願いしてありますが、一月十五日の成人式、三月二十八日の青少年フェスティバルには、多数の方の奉仕によって支えられる行事です。よろしくお願いたします。

また、記事や編集などについてのご意見、ご希望がありましたら事務局までお寄せ下さい。